

令和7年第10回恵那市教育委員会会議録

開催日時 令和7年9月19日（金） 午後1時30分～

開催場所 恵那市役所 西庁舎 4A会議室

| | | |
|------|----------|---------|
| 出席委員 | 教 育 長 | 岡 田 庄 二 |
| | 教育長職務代理者 | 樋 田 千 史 |
| | 委 員 | 小 栗 秀 子 |
| | 委 員 | 西 尾 修 欣 |
| | 委 員 | 村 松 訓 子 |

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

| | |
|--------------|---------|
| 副教育長 | 工 藤 博 也 |
| 事務局長 | 鈴 村 幸 宣 |
| 事務局次長兼学校教育課長 | 丸 山 頼 彦 |
| 事務局次長兼社会教育課長 | 柄 澤 史 枝 |
| 教育総務課長 | 瀬 瀬 千 尋 |
| 教育総務課総務係長 | 志 津 博 光 |

| | |
|------|-----------|
| 日程第1 | 会議録署名者の決定 |
| 日程第2 | 会期の決定 |
| 日程第3 | 会議録の承認 |
| 日程第4 | 教育長の報告 |
| 日程第5 | 議事 |

| 議 事 | 案 件 名 | 結 果 |
|-------|------------------------------|-----|
| 議第35号 | 令和6年度恵那市教育委員会事務事業別点検及び評価について | 可 決 |

開 会（午後1時30分）

教育長 それでは、定刻になりましたので、令和7年第10回恵那市教育委員会定例会を始めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

1 会議録署名者の決定

教育長 日程第1、会議録署名者の決定。樋田委員、西尾委員、よろしくお願いします。

2 会期の決定

教育長 日程第2、会期の決定。令和7年9月19日、1日間です。

3 会議録の承認

教育長 日程第3、会議録の承認です。

会議録について、修正等ありましたらお願いします。

委員 ありません。

教育長 では、会議録はこれで承認ということをお願いします。

4 教育長の報告

教育長 日程第4、教育長の報告です。

8月21日に教員向けの演技ワークショップを行いました。参加者は19名でした。メンバーを見ると、経験年数の浅い者から多い者まで幅がありましたけれども、どの方も感想を読むと共通していたのが、自分のことをよく知ることができたと言っていました。ワークショップをやりながら自分を見つめることができたということだと思うのですけれども、それともう一つは、他人の気持ちといえますか、何か行動をするときには目的と動機、それに価値観が関わってくるので、そういうことに注目しながら見ていくことが大切だということを学んだということで、これからの学校での子供たちの指導に生かせるのではないかなということを言っていました。表情もとてもよかったですし、非常にいいことだと思いますので、できれば来年以降も続けたいと思っています。それから併せて、恵那南中学校を開校したら、恵那南中学校でもまずこの演技ワークショップを何とか取り入れていけないかなということを考えているところです。最終的には、恵那市の全部の学校までいけるかどうか分かりませんが、できるだけ広げることができたらいいなと思っています。

8月21日、22日に都市教育長会夏季研修会が瑞浪市で行われました。今年は、講話としてヤマハ株式会社の取締役会長の中田卓也氏に来ていただいて話を聞くことができました。この方は、瑞浪市陶町の方です。テーマは、「為さねば成らぬ」ということで、その横に「結果＝能力×熱量の2乗」ということでお話をいただきました。社長としてというようなお話だったのですけれども、教育長にも通ずることがありました。その中で、一つお話できることは、「企業価値」。これは学校価値とか教育委員会価値を向上させるにはということで、ビジョンと戦略と仕組みが大事ということを言われました。もう一つ社長の仕事の大切なことは、人をその気にさせるということです。成果を出すのは仲間だと。分かりやすく言うと、社長が直接するわけではなくて、その下にいる社員の方々が実際に動いて成果を出していくわけなので、そういう人たちをやる気にさせること、その気にさせることが社長の仕事だということを言われて、なるほどと思いました。

それから、9月5日に校長研修会ありました。いろいろ話しましたが、今年は特に教育計画というか、1年間の教育活動の計画の見直しをこの時期からやってほしいという話をしました。例えば、6月、7月からプールといっても今は暑過ぎてなかなかできない。そうすると学校によっては5月の連休が明けてからスタートするところもあるということを考えると、そういう行事をずらす

ことで、5月頃に行っていた行事をどこに持っていかうとか、体育大会はもう10月以降になっていますけれども、体育大会のこととかも含めて1回見直しをしてほしいという話をしました。

恵那南中学校の統合関係でいいますと、9月4日に幹事会、9月17日に理事会がありました。主に校章、記念式典、学校行事、PTA、それから学校で集めるお金のこと等を審議していただいて、ほぼ提案どおり理事会まではご承認いただきました。9月29日に総会がありますので、総会でご承認いただければ、あと大きなものでいいますと、校歌が残るぐらいでほぼ課題はご承認いただいていることになるかなと思っています。校歌については、10月末ぐらいをめどにお願いした岡田さんから校歌をご提示いただいて、そこから審議が始まっていくという流れで進んでいます。建物については、11月末で増築棟が完成しますので、1月から子供たちは増築棟の方に入って、卒業する3年生も3カ月ぐらい生活できると。子供が移動したところで、今ある校舎の方の改修が行われて、3月にはもちろんお披露目をするのですけれども、予定どおりいけるのではないかとということで今のところ進んでいますので、ご報告をさせていただきます。私の報告は以上です。

5 議事

教育長 日程第5、議事に移ります。

議第35号令和6年度恵那市教育委員会事務事業別点検及び評価について進めさせていただきます。資料が多いですので、二つに分けて説明をさせていただきますのでお願いします。

では、点検及び評価について事務局から説明をお願いします。

事務局長 議題35号令和6年度恵那市教育委員会事務事業別点検及び評価について説明。
教育長 では、ここまでのところでご質問等あればお願いします。特に、B評価をしたところが2つありますので、それについてはどうかということも含めて教えていただければありがたいです。

西尾委員 学校における体育館の空調設備が、この夏の暑さでニュースにも何度も取り上げられたのを見ました。冷房が効いているから体育館で体育の授業ができた、あるいはいろいろなイベントができたということをニュースで見たわけですが、恵那市は随分と先んじてやってくださったということを思っております。小学校全て、そして中学校の体育館の空調は令和7年度ですよね。また令和7年度についても、いい評価をしていただければいいかなというふうに思います。ちなみに、今年、恵那高校の体育祭も体育館、東美濃ふれあいセンターで行ったという話を聞きました。いよいよ恵那高校の体育祭も外でできないぐらいの状況なのかということを改めて感じたわけですが、この空調のおかげで市内の小中学校がよくなったなということを思いました。

教育長 ありがとうございます。ほかにどうでしょうか。

小栗委員 5ページの高等教育振興事業費の通学費補助事業ですが、これは恵那南高校に通われている方限定なのではないでしょうか。岩村とかから恵那の方に通って見える方

には、補助はあるのでしょうか。

教育総務課長

子育て支援パッケージというものがあって、明知鉄道を利用して、例えば明智駅から恵那駅まで通って恵那高校へ行くとか、そういった方たちにも補助があります。これは1カ月5,000円上限というもので、5,000円までしか払わなくていいというものです。これについては、子育て支援課でそういった補助をしていますので、ここには入っていないです。恵那南高校に明知鉄道を利用して通う子というのは、子育て支援パッケージで1カ月5,000円が上限なのですけれども、そのさらに半分をここで補助するという制度でございます。

教育長 ほかはどうでしょうか。

村松委員 7ページの教育発達相談支援事業費ですけど、新たに校内教育支援センターを設けるなど、今までよりもさらに手厚くなっているような気がするので、B評価でもいいのではないかと思います。それと、恵那南中学校に關しての項目は全て新しい事業なので、B評価でもいいのかなと思うのですが、あえてC評価というのは。

事務局次長兼学校教育課長

まず、教育発達相談支援事業費のところ、校内教育支援センターは各中学校に設置させていただいて、専門員を一人ずつ配置しました。

村松委員 そうですね。今までになかった支援員もちゃんと置いて設置してあるのですね。

事務局次長兼学校教育課長

教育・発達相談室「あおば」、教育支援室「むつみ」は、人的には変わらないですけど、連携を取りながら、学校との関わりを深めながら今も運用しているという状況になります。

教育長 委員のご意見でいうと、校内の教育支援センターをつくって、今までよりはここら辺がちょっと手厚くなっているからB評価でもどうかということですが、どうですか。

副教育長 相談員としては心の相談員を必ず入れているのですけれども、目指している校内教育支援センターで個別な配慮をしてみてくれる人とか、そういったものは学校の力にお願いしており、そこは今課題になっているので、厳しめにC評価としました。

村松委員 分かりました。

教育総務課長

それから、10ページの中学校統合準備経費がC評価で、11ページの恵那南中学校整備事業費がB評価ということで、両方とも新しい計画で中学校統合準備経費もB評価でいいのではないかとご意見でした。この差が一体何かというと、11ページの恵那南中学校整備事業費というのは、ハード整備の関係で、なぜこれをB評価にしたかというと、工期を5カ月間短縮したということです。通常建物を建てる場合は、構造材という柱を立ててから建物を建てるのですけれども、これは通常工事を発注してから準備するのですが、発注する前にあらかじめその木を恵那市の方で準備するという手法を取り入れました。

その関係で工期が5カ月間も短縮になったという理由でB評価にしまして、中学校統合準備経費は、どちらかというとソフト事業で、前年度もやってきた事業なので、令和6年度はそれが継続されてきているということで、厳しめにC評価としております。

村松委員 分かりました。

教育長 ほかは、よろしいですか。

樋田委員 7月に第1回の恵那市教育行政評価委員会があつて、委員の皆さんの意見を聞いたのですけれども、どの方も今の教育委員会がやっているこの項目は大変いいよということを言われました。C評価が多いのですけれども、謙虚なところもあるだろうということで、一生懸命やってみえるということを総体的に言ってみえました。

教育長 では、続けて11ページ5の社会教育費から説明をお願いします。

事務局長 議題35号令和6年度恵那市教育委員会事務事業別点検及び評価について説明。

教育長 では、後半の部分でご質問、ご意見等ありましたらお願いします。

西尾委員 全体を通してですけど、説明の中で令和7年度に繰り越しをしたという項目が幾つかありました。それによって予算額よりも決算額が小さくなったということなのですが、それは令和7年度予算にもう繰り越されているのですか。

事務局長 繰り越しています。

西尾委員 もう既に繰り越されていて、令和7年度予算の中に組み込まれている。

教育総務課長

当初予算とは別で予算化されています。

教育長 ほかはどうでしょうか。

小栗委員 11ページの中央公民館講座運営事業費の予算額と決算額の差額の理由は。

事務局次長兼社会教育課長

講座を予定したところ講師の都合で開催できなくなったものや、地震により東海北陸公民館大会石川大会が中止になったため旅費等が余ったものなど、細かなものが幾つかありまして、結果として大きく余ってしまったものです。

小栗委員 あと、15ページの生涯スポーツ推進事業費の中にある、中部大学と連携したこども園運動プログラムの実施で、市内こども園を対象にというのは、人数などに関係なく全園で実施されていますか。

事務局長 これは平成29年度から継続してやっている事業でございまして、全園に中部大学の先生と学生が行って、園児の体力測定的なことを毎年やっています。その中で、遊びを通して体を動かすことが好きな子供にしていきたいという思いの中から始めています。これで8年実施したので、最初の頃の園児だった子が今中学生ぐらいになっていると思うのですけど、こういったところの分析も今後必要ではないかということは内部で話をしています。小さい頃から体を動かすことが好きな子供になれば、小学校、中学校、高校、大人になっても、基本的には体を動かすことが好きな人間になっていくことを目指してやっているものです。具体的には、ボールの投げ方や走り方、腕の振り方など、こういったところを遊びの中に取り入れてやっていくイメージです。

樋田委員 今のことに関連して、ずっと続けてやってもらっていますが、評価として、例えば、その後オリンピックに出たとか世界陸上に出たとか、そんなふうになればたくさんの評価がつくかもしれないですけども、そうではなくて、本当にレベルが上がってきていると、続けていくことでこの評価をしていく。いつもこれはC評価だけど、私はB評価でもいいような気がします。やがてはそういう子が出るかもしれない。水をかけたらすぐに開いたなんてそんなことはあり得ないので、地道にやっていくということは大事ではないかなと思います。これはぜひ続けていってもらいたいし、評価もよくしていくといいのではないかと思います。

教育長 継続してやっているということで、まだ検証が十分にできていないのですが、きっと成果も出ているだろうと思います。

樋田委員 そんな急には成果が出ないと思いますが、実際に運動会へ行ったときにどの子も走り方が本当にきれいだったし、上手になっていると思いました。

西尾委員 確認ですけど、オリンピックなどの国際大会に出場する選手への補助金制度は令和7年度からでしたか。

事務局長 そうです。今年度からスタートした事業でして、今のところ候補としては女子サッカーの柘植沙羽さんがアンダー20の日本代表になって、今アジアカップの予選等に出ていますので、その選手が認定第1号になるのではないかと思います。

教育長 ほかにご質問等はよろしいですか。

では、確認をさせていただきますが、こちらから最初に提案をさせていただいたB評価はそのまま、15ページの生涯スポーツ推進事業費のC評価をB評価にしたかどうかということでご提案をいただきましたので、そういう形で教育行政評価委員会に提出させていただきたいと思います。

では、お諮りします。本議案については、原案のとおり承認することにご異議ありませんか。

委 員 異議なし。

教育長 ありがとうございます。では、議第35号は原案のとおり承認することに決定しました。

本日本日の議案は以上となりますので、令和7年第10回恵那市教育委員会定例会を閉じさせていただきます。ありがとうございました。

午後2時18分閉会を宣言。

令和7年9月19日

教育委員 樋田千史

教育委員 西尾修欣